

山紫海碧

東村立有銘幼小中学校

幼児2名 児童30名 生徒11名

♪ 山紫に海碧く ♪

発行 校長・園長 古謝治



校舎玄関側で撮影 H28.12.07

巻積雲

巻積雲（けんせきうん）は、白色で陰影のない非常に小さな雲片が多数の群れをなし、集まって魚のうろこや水面の波のような形状をした雲。絹積雲ともいう。また、うろこ雲、翮（いわし）雲、さば雲などとも呼ばれる。

上空高く高度5-15km程度に浮かび、雲を構成する粒は氷の結晶からできている。俗称であるうろこ雲・いわし雲・さば雲はどれも秋の季語である。低緯度から高緯度まで広い地域でほぼ年中見られるが、日本では、秋は台風や移動性低気圧が多く近づくため特に多く見られ、秋の象徴的な雲だとされる。（Wikipediaより引用）

そう言えば昔々、「うろこ雲が見られる時は、魚がよく釣れるよ」と大人から聞かされた覚えがあるが、うろこ雲が出ているからといって大漁した記憶はない。釣れる釣れないは、釣り場やタイミング、テクニックの問題であって、うろこ雲の話は、単なる迷信だと今でも思っている。

種をまくほうが大切です

子どもはほめることが大切です。でも、いいことがあったらほめようというのではなく、ほめることが出てくるように、ほめる種をまいていくことを考えたいと思います。そうせずに、いいことがあった子、よくできる子だけをほめていくと、まんべんなくほめるというわけにはなかなかいきません。

また、少し学年が上になると、ほめるに値しないことをほめられたときは、喜ぶよりも、むしろいたわられているような辛い気持ちになるのではないのでしょうか。

教師や親は、ほめる大切さとほめる種をまく大切さを並べて、いいえ、種をまくことのほうを重く心にとめておきたいものです。

大村はま「灯し続ける言葉」(小学館)より

わ ↓ 悪いことは悪いとしつけていますか？

が ↓ 我慢する心を育んでいますか？

や ↓ 約束は守られていますか？

の ↓ ノーと言える大人ですか？

こ ↓ 子どものよりどころになれていますか？

そ ↓ 育てていますか？子どもの夢を！

だ ↓ 食べ物に愛情を込めていますか？

て ↓ 手本になれる大人ですか？

我が家の子育て全国キャンペーン (全P連)

第70代 有銘中生徒会長選挙行われる

12月7日(水)の6校時に第70代「有銘中学校生徒会長選挙」が行われました。現3年生の梅木惇華副会長が司会を務め、若林勝則さんが選挙管理委員長を、そして伊波世穂生徒会長による激励の挨拶の後、現2年生の3名の立候補者による堂々として頼もしい立会演説が行われました。誰が生徒会長に選出されてもふさわしい演説でした。その後、村選挙管理委員会からお借りした、本物の投票箱と記載台を使用して投票が行われました。

	<p>僕が掲げている公約は3つあります。一つ目は、「みんなが意見を言い合える学校」です。そのためにも、目安箱のルールを変えます。二つ目は、「笑顔が絶えないポジティブな学校」です。そのためには言葉づかいをていねいにしていきます。三つ目は、「文武両道ができる学校」です。勉強面では提出物をしっかりし、部活面では練習に励んでいきます。この3つの公約を実現させるために、自分から何でもやって、模範となるようにがんばります。</p>
	<p>私は、「みんなが明るく楽しく過ごせる学校」「何でもポジティブに考えられる学校」「文武両道の学校」の3つの公約を実現させたいと思います。そのためにも、自分から進んで誰にでも笑顔で接していこうと思います。また、小さな事からポジティブに考えて何にでも挑戦していけばいいと思います。それを続けていくと何でもポジティブに考えられ、自信などもついてくると思います。文武両道においては、勉強の時は勉強、部活の時は部活に集中していこうと思います。どちらもがんばりいい成績を残せるよう切り替えを大切にしていけば、切り替えができ、文武両道になると思います。</p>
	<p>僕が掲げている公約は3つあります。一つ目は、「朝活や委員会活動に積極的に取り組む」ことです。しかし、取り組むことができなかった人もいます。この問題を解決するために、登校したら声かけをして協力して取り組むことのできる環境を作ります。二つ目は、「+思考に考え、お互いで高め合える学校」です。互いに教え合ったりすることで、成績や技術の向上を図ります。三つ目は、「お互いの時間をシェアできる学校」です。困っているとき、助け合うことで、思いやりの心をもって相手に接することのできる生徒を作りたいです。公約を実現するために、自分から積極的に考動し、みんなを引っ張っていきます。</p>



選挙管理委員長から投票用紙を一枚受け取ります。

人気投票にならないよう公約は何か？を考えながら、清き一票を投じます。



即日開票の結果「田場尚耶」さんが、第70代有銘中生徒会長に当選しました。惜しくも生徒会長にはなれなかった候補者のみなさんも生徒会活動を支えていく、やる気に満ちた頼もしい生徒です。校内を活性化させるために貴重なリーダーになりうるみなさんです。有銘中の生徒会長・役員としては3月までとなりますが、中学校統合後の来年4月からは、新生東中学校で3中学校から選出された生徒会役員同士が話し合い、新たな役員体制をつくることとなります。

これまで生徒会役員として、また、有銘小中のよきリーダーとして活躍してくれた中3のみなさん、ありがとう！そしてご苦労さまでした。

赤い羽根募金贈呈式

12月8日(木)の全体朝会の場で「赤い羽根募金贈呈式」を行いました。子ども達の善意で集まった募金額は¥10,953でした。村社会福祉協議会より大嶺さん、當間さん、山口さんが贈呈式に出席なさっていましたので全員の前で贈呈しました。そして、感謝の言葉を述べられていました。ありがたいことに昨年の募金を活用して、学校の方には子ども達の興味をそそるような図書20冊余の贈呈がありました。

